

【組合の概要】

千葉市廃棄物リサイクル事業協同組合は、千葉市の清掃行政と環境保全問題の変化に伴い事業所系一般廃棄物処理業界がこれらの状況変化に対応するために平成8年4月組合を設立した。名称は千葉市一般廃棄物処理業協同組合であったが、業務としては資源物から産業廃棄物まで扱っており、一般市民への認知度アップのため昨年12月に名称を変更した。

【理事長会社概要】

飯田環境クリーン株式会社は、飯田俊夫理事長のお父様である故飯田昇治氏が昭和30年に創業した会社である。現在、産業廃棄物処理業、一般廃棄物処理業、塵芥清掃業、再生资源卸売業、建物清掃業等を行っている。

先代の昇治氏は、神奈川県厚木市の農家の生まれで8人兄弟の長男であったが、利益効率の悪い農業に魅力を感じず実家を次男に譲り、裸一貫新天地千葉で全く新規事業として廃品回収業を始めた。当時は資源物の価格も高く、寝る間も惜しんで働いたとか。業績も順調に伸びし、昭和47年には個人企業から有限会社飯田となり、古物商許可に加え、一般廃棄物処理業許可も取得し、資源物ばかりではなく一般廃棄物の処理も取り扱うようになった。自己の会社

千葉市廃棄物リサイクル事業協同組合 飯田俊夫理事長

◎いいた・としお 昭和50年3月県立四街道高校卒業、(有)飯田入社。平成4年代表取締役。平成12年社名変更、平成15年千葉市廃棄物リサイクル事業協同組合理事長。50歳。



千葉市廃棄物リサイクル事業協同組合

所在地 千葉市中央区登戸1-24-2
 代表者 飯田 俊夫
 組合員数 31名 出資金 620万円
 職員数 4名

環境変化に対応し 常に先を見越した堅実経営

の業績を伸ばす一方、業界団体である千葉県再生資源商業協同組合や日本再生資源事業協同組合連合会の運営に長年携わり、再生資源業界の改善発達に多大な貢献をされた方であった。

しかし、その先代も平成4年に癌で急逝、そのため若干36歳で会社経営を引き継ぐことになった飯田理

会社へ組織変更。産業廃棄物処理業の許可も平成8年の収集運搬に加え、平成19年に中間処理を取得し廃棄物の減量化に取り組んでいる。また、平成18年3月にISO14000シリーズを取得し、常に将来に備えるなど堅実な会社経営を行っている。

【飯田理事長の横顔】

飯田理事長は、当組合以外に千葉市再生资源事業協同組合副理事長、千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会理事、関東資源回収組合連合会理事、日本再生资源事業協同組合連合会理事の要職にある。また、過去に中央会では青年中央会代表幹事を歴任された。司会者や議長、主催者挨拶の上手さには定評があり、創業者から2代目に事業を引き継ぐ難しさはよく耳にするが、飯田環境クリーン(株)でスムーズに事業が継承できたのは、後継者である飯田理事長の経営者としての資質の高さにあると言える。

飯田理事長に興味についてお伺いしたところ、アンティーク時計の蒐集と売買とのこと。つい先日もアンティークショップで入手したロレックスを倍以上の価格で売却したとか。所有して、身につけて楽しみ、売却しても楽しんで収入にもなる。一粒で二度ならぬ三度美味しく楽しんでしまうあたりは流石である。

事長であった。それまで現場專業から突然の配置転換。当時は戸惑うことも多かったようであるが、先代から受け継いだ相続財産は金銭的なものばかりではなかった。ものの考え方や人脈だったりソフトな経営資源の方が大きかったと飯田理事長は振り返る。ご本人は謙遜されるが、先代から受け継いだ財産である自社の事業を承継し、さらに盛上げていくことは並大抵のことではない。平成12年に有限会社から株式